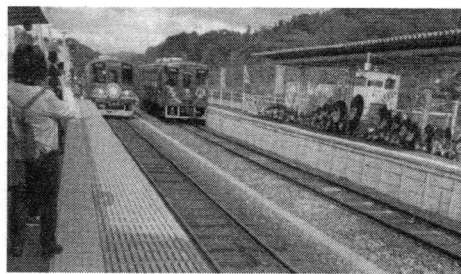


# 日本主婦連 秋の信楽へ日帰りバスツアー

## 陶芸村で楽しく勉強

### 松茸会席に舌つづみ



信楽高原鉄道

令和3年11月8日(月)に日本主婦連合会の日帰りバスツアーが行なわれました。33名の会員を乗せて、信楽の陶芸村をめざし、昼食に松茸会席を頂き、信楽高原鉄道に乗り、青土ダムを回るコースでした。

山の傾斜を利用し、新

で火入れをする22mの登り窯を見ながら、信楽の窯元で、信楽焼の歴史とタヌキのいわれなどのお話を伺いました。

元々は火鉢を生産しており、日本の生産量の90%がここ信楽で作られていたそうです。石油ストーブにその座を奪われて、100軒以上あった登り窯が、現在では4軒しかないそうです。10日から14日間は不眠不休で作業をする登り窯に代わり、現在は15〜16時間の

では、なぜタヌキの置物か、あちこちらにとの疑問がわくところですが、重ねることが出来ないため、玄関先や店先に並び、人々の目をひくように、タヌキは縁起のいいもの尽くしとされています。タヌキは、ま

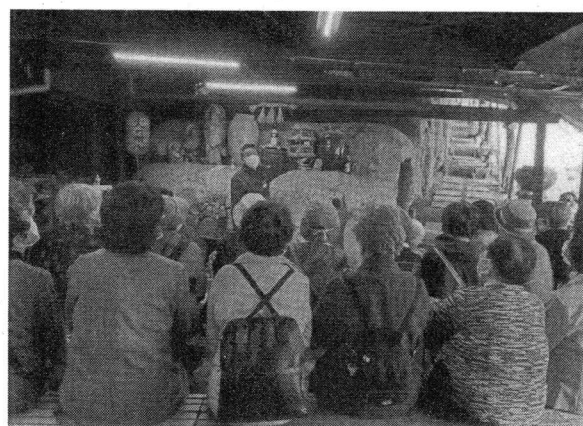
ず他を抜く(出世)、被る傘は災難から身を守る、徳利は徳を備える。大きな腹は太っ腹に、金袋はお金に恵まれる等々、面白い話をお聞きしました。

陶芸村を後にして、昼食会場に向いました。本日のメインでもある「松茸会席」です。お品書きには、近江牛と松茸のすき焼き・土瓶蒸し・焼松茸・天ぷら・松茸ご飯等々8品松茸づくりで頂きました。お土産にカワイイ松茸を10本頂きました。

昼食後は、信楽高原鉄道に乗りし窓から秋の景



参加したみなさん



窯元で信楽焼のお話を聞く



会席とお土産の松茸

この後は、青土(おおづち)ダムへ向いました。

色を堪能し、記念に「特別記念乗車証」と忍者列車のしおりを頂きました。

この後は、青土(おおづち)ダムへ向いました。

た。滋賀県で一番長い川である野州川は、昔はしばしば大雨や台風による洪水があり、田畑や家などに大きな被害が発生していました。昭和38年にダム建設が計画され、昭和63年に中央コア型ロックフィルダムとして完成しました。

青土ダムは4つの働きがあります。①洪水調節②河川機能維持③水道水の補給④工業用水の補給です。貯めた水を流す際に小型の水車で電気を作り、最大200kWの電力を生み出します。このようないくつもの働きを持つダムを「多目的ダム」と言うそうです。滋賀が初めて作った「多目的ダム」です。2つの給水口に吸い込まれる水の流れの美しさは圧巻でした。この日は風が強く、皆様、髪

を乱しながらの見学でした。

この後は、道の駅で思い思いのお土産を買いバスに乗り帰路に着きました。バスの中でも、クイズでビンゴゲームで、次々に景品が出されて、あっという間の時でした。外は暗くなっていたが「お疲れ様、またお会いしましょう」と名残り惜しい別れでした。

コロナ禍で約2年あまり、皆様と再び、バスツアーに参加できました事本当にうれしい一日でした。

#### 新春互礼会中止

社団法人大阪府医師会  
公益社団法人大阪府柔道整復師会  
高槻市商業団体連合会